

繊維製品における資源循環ロードマップ

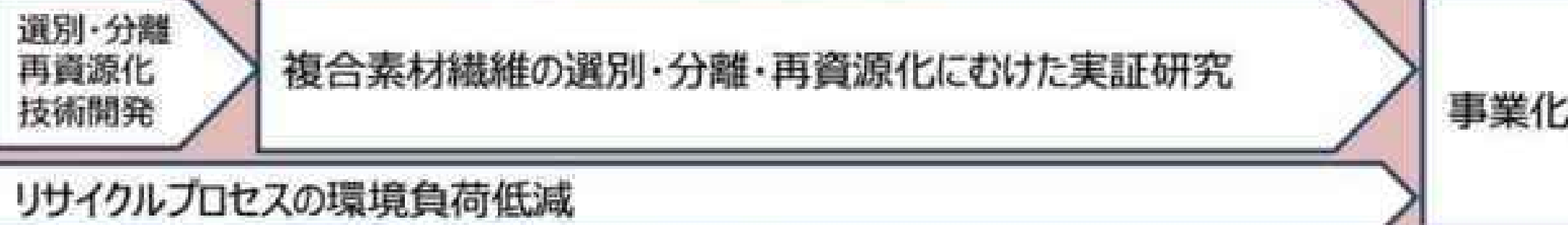
2040年度の資源循環システムの構築、適量生産・適量消費の達成を目指し、そのためのKPIを設定。まずは、それぞれの項目で2030年度をターゲットイヤーとした個別目標を達成していく。

衣料品の回収量の増加に向けた制度整備

- 自治体や事業者のグッドプラクティスを収集・整理（環境省）
- 脱炭素化と再生資源の質と量の確保等の資源循環の取組を一体的に促進（環境省）

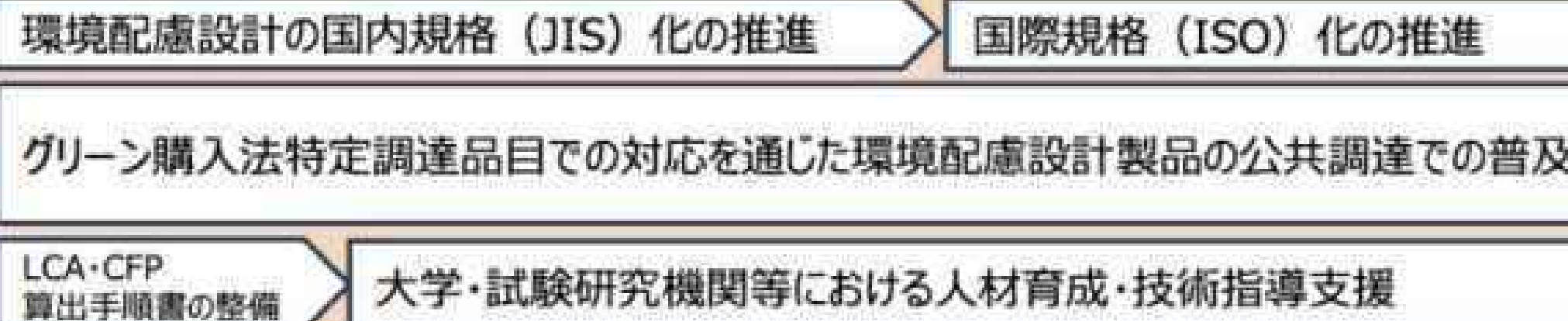
家庭から廃棄される衣類の量の2020年度比
25%削減

資源循環システム構築に資する技術基盤の整備



手放される衣料品のうち、繊維to繊維リサイクルで
5万トンを処理

繊維製品における環境配慮設計の推進



環境配慮設計ガイドラインの企業普及率
80%

アパレル産業における情報開示の推進・グリーンウォッシュ対策



国内主要アパレル企業の情報開示率
100%

参考：欧州における対応の方向性

- ESPR施行（未使用繊維製品の廃棄禁止、環境配慮設計の要件化、リサイクル繊維等の定義、DPP等）
- CSRDに基づく情報開示の義務化

「持続可能な繊維戦略」
ターゲットイヤー

必要に応じて追加の取組・対応の強化を検討

資源循環システムの構築

適量生産・適量消費の達成

2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2040（年度）

繊維製品の環境配慮設計ガイドライン

令和6年3月

経済産業省

環境配慮設計項目とその目的

環境配慮設計項目	目的
① 環境負荷の少ない原材料の使用	<ul style="list-style-type: none"> ・資源枯渇問題への対応 ・環境負荷の低減
② GHG排出抑制、省エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネによる環境負荷低減 ・GHG排出抑制による地球温暖化対策 ・製品のライフサイクルでの環境負荷の低減
③ 安全性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・環境（自然環境、労働環境）のリスクの低減 ・人体へのリスクの排除 ・関係法令の遵守（有害物質の使用制限、環境負荷物質の排出抑制・管理）
④ 水資源への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・水資源の使用の抑制による地球環境の保全
⑤ 廃棄物の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の発生の抑制による環境負荷低減
⑥ 包装材の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・包装材の省資源、リサイクル等の推進 ・包装材の減量化、減容化による環境負荷低減 ・運搬の効率化（包装、ダンボールなどの再利用など）
⑦ 繊維くずの発生抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の抑制による環境負荷低減 ・海洋プラスチックの流出抑制
⑧ 長期使用	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の長期使用による資源の有効利用、廃棄物の抑制
⑨ リペア・リユースサービスの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の有効利用の促進 ・廃棄物の抑制による環境負荷低減
⑩ 易リサイクル設計	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の循環利用の促進 ・限りある資源の有効活用 ・リサイクルの容易化
⑪ 繊維製品のリサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の循環利用の促進 ・限りある資源の有効活用 ・使用済み衣類等の廃棄物の減少

繊維・アパレル産業における環境配慮情報開示ガイドライン

第1版

令和6年6月25日

経済産業省製造産業局生活製品課

(別表)

繊維・アパレル産業における環境配慮情報開示ガイドライン ワークシート

(1) 自社の環境配慮に関する考え方

- 自社の事業活動が環境に対してどのような影響を及ぼしていると考えるか。
- 行動方針（課題について自社はどのように対応していくのか。）

(2) 数値目標

(例) 製造工程で排出される温室効果ガスを●●年度までに●●年と比較し、●●%排出量を削減する。

(3) 目標達成のための取組

- (例) 海外で生産された生地ではなく国内の近隣事業者で生産された生地を使用する。
- 取組を行うことでどのように目標達成を行うか。
(例) 輸送時の温室効果ガス排出を抑制する。
 - 取組の効果をどのように計測・評価するか。

unisteps

ジャパンサステナブルファッションアライアンス (JSFA) 事務局

企業・行政との取組



クリエイターとの取組

FASHION FRONTIER PROGRAM 事務局

生活者との取組

FASHION REVOLUTION 日本事務局

生産と廃棄の現場を巡るフィールドトリップ

Shift Cアドバイザー



■ ジャパンサステナブルファッションアライアンス

個社では解決が難しい課題に対して、共同で解決策を導き出していくための企業連携プラットフォーム
2050年カーボンニュートラルとファッションロスゼロを目標に掲げ各種活動を実施

正会員

賛助会員

原料・素材メーカー / 関連機関

KURABO WOLMARK
kuraray クラレホールディングス株式会社
TEIJIN 帝人フロンティア株式会社
'TORAY'
shikibo 株式会社シキボ
Spiber
日本化薬
REFINVERSE

アパレル / 小売

andSTHD Goldwin UR UNITED ARROWS LTD.
AOKI AOKI Holdings asics
C.A.B. CLOTHING INC. crossDs japan GLOBERIDE
GUNZE The SAZABY LEAGUE ZOZO
Fukuoka Knit TSI HOLDINGS CO-OP
fukuske Fukule
YAMADAYA 良品計画

商社

STYLEM
タキヒョー株式会社 豊島 TOYOSHIMA
Marubeni =YAGI=
AsahiKASEI 旭化成アパレル
ITOCHU TAKISADA NACORA
TAMURA TAMURA
長谷虎紡績株式会社 HASEGUMA SPINNING CO., LTD.
MORIRIN

副資材

YKK Little Parts. Big Difference.™
KOBEL CO.,LTD.
東京吉岡
Nittobo

検査 / 認証機関

SGS KAKEN
BOKEN
bluesign menten

リユース / リペア / リサイクル

ECOMMIT
JEPLAN
EcoRing 買取王国 鈴木商会
Valence Free Standard
BOOKOFF GROUP HOLDINGS

生産設備 / 機械メーカー

EPSON
SHIMA SEIKI

ロジスティクス

Yusen Logistics

2025年10月時点

unisteps

ジャパンサステナブルファッションアライアンス (JSFA) 事務局

企業・行政との取組



クリエイターとの取組

FASHION FRONTIER PROGRAM 事務局

生活者との取組

FASHION REVOLUTION 日本事務局

生産と廃棄の現場を巡るフィールドトリップ

Shift Cアドバイザー





FASHION FRONTIER PROGRAM 2025

Applications are Open
21st April (Mon) – 1st June (Sun)

募集開始!!!
4月21日(月) – 6月1日(日)



FASHION FRONTIER PROGRAM 2025

Applications are Open
21st April (Mon) – 1st June (Sun)

募集開始!!!
4月21日(月) – 6月1日(日)



FASHION FRONTIER PROGRAM 2025

Applications are Open
21st April (Mon) – 1st June (Sun)

募集開始!!!
4月21日(月) – 6月1日(日)



FASHION FRONTIER PROGRAM 2024審査員



現代アーティスト
寒川裕人



ユナイテッドアローズ上級顧問
栗野宏文



国立環境研究所・生物多様性領域室長
五箇公一



ファッションデザイナー
中里唯馬



アーティスト
片山真里



Sozzani財団クリエイティブディレクター
Sara Maino



慶應大学医学部教授
宮田裕章



振付師・オペラディレクター
Nanine Linning



ファッションジャーナリスト
渡辺三津子

一次審査会「プログラム参加者選抜」 (2023.07.24)



ワークショップ「サステナブル生地紹介」 (2023.08.19)



中間審査 (2023.09.09)



ワークショップ「プリント施設見学」 (2023.09.26)



作品撮影 (2023.11.04)



最終プレゼンテーション (2023.12.05)



最終審査会 (2023.12.05)



授賞式 (2023.12.05)





2023年度受賞者

Grand Prize

川尻 優 Yu Kawajiri

weaving sentimentality

クローゼットの片隅にねむる
行き場をなくした無数の古衣に滲んだ
女たちの想い

わたしはその布のなかに
宿っていた想いを
止まっていた時を
解きほぐし 紡ぎなおし
ひとつの形に編みなおすことで
どこかに継いでいきたいとおもった



Runner- up

ジュリア モーザー Julia Moser

Panta Rhei. Growing colours for flowing waters

細菌による染色は、節水につながり、有害な化学物質を使用する必要がないため水を汚さず、極めて環境にやさしい。本作品は内容的にもデザイン的にも、新鮮な水を保全するという問題に取り組んでいる。ペットボトルをリサイクルしたテキスタイルを再利用し、ウィーンのドナウ川から分離されたJanthinobacterium lividum（ジャンシノバクテリウム・リビダム）という細菌を生地の染色に使用することで、ほとんど水を必要とせず、染色中も染色後も水を汚さない染色方法を実現している。使用されている細菌株は、有害な化学薬品を使用せずに合成繊維を着色することにも成功している。



Runner- up

池部ヒロト Hiroto Ikebe

MAYUGOMORI

かつての女性たちは虫であるお蚕の感覚を想像し、それを感受するための媒体として自らの身体を機能させ、感覚を蚕の身体の状態に拡張していた。それは人と蚕という生物の身体感覚を通して行われるコミュニケーションであり、そのような感覚は現代の私たちと乖離しつつある。このプロジェクトではそのようなコミュニケーションから生まれる“素材”や“生産者”との製品の関係性・文脈を視覚化し、同様に大量生産のための工業化で見えなくなってきたテキスタイル製品の製造プロセスの理解を取り戻すことで、衰退しつつある養蚕文化の記憶の再生を目指した。





unisteps

ジャパンサステナブルファッションアライアンス (JSFA) 事務局

企業・行政との取組



クリエイターとの取組

FASHION FRONTIER PROGRAM 事務局

生活者との取組

FASHION REVOLUTION 日本事務局

生産と廃棄の現場を巡るフィールドトリップ

Shift Cアドバイザー





検証 | 1着トレースしてみても分かること

<p>綿花 Raw Cotton ウチャック社 by UCAK TEKSTIL in Turkey</p> <p>種まき Seeding 担当: アシル・ユルマズ</p> <p>収穫 Harvest 担当: アシル・ユルマズ</p> <p>綿繰り Ginning 担当: ハザン・カヤ</p> <p>ペール作成 Baling with a press 担当: エレン・デミル</p> <p>紡績 Making to Thread ウチャック社 by UCAK TEKSTIL in Turkey</p> <p>スライバー作成 Making raw cotton into sliver 担当: イルマク・チェリク</p> <p>粗紡 Roving 担当: ビナル・ジャヒン</p> <p>精紡 Spinning 担当: ビナル・ジャヒン</p> <p>仕上げ・検品 Finishing and inspection 担当: イズェト・アルトゥップ</p> <p>輸出 Export to Bangladesh</p> <p>港へ輸送 Transportation to port 担当: クセイ・カルカン</p> <p>輸出通関 Customs Clearance 担当: セブダ・タルハン</p> <p>バンニング Vanning 担当: アルスラン・ベレケ</p> <p>船での輸送 Transporting by ship 担当: ジャン・デミレル</p>	<p>輸入通関 Import Customs Clearance 担当: サイド・ハシナ</p> <p>国内配送 Transport by Truck 担当: シヤム・ナズムル</p> <p>編み立て Making into fabric ナラヤンガンジニット社 By Narayanganj Knit in Bangladesh</p> <p>丸編機で生機作成 Creating grey 担当: サディ・ヌサイバ</p> <p>検反 Inspection 担当: タハ・ノア</p> <p>染色 Dyeing チッタゴンダイイング社 by Chittagong Dyeing in Bangladesh</p> <p>ビーカー試験・色決め Beaker test and color scheme 担当: ファルック・リーマン</p> <p>前処理 Preprocessing 担当: ナジム・メナス</p> <p>染色 Dyeing 担当: ナジム・メナス</p> <p>仕上げ・検反 Finishing and inspection 担当: ナジム・メナス</p> <p>その頃日本では Meanwhile in Japan</p> <p>製品デザイン企画 Product design planning 豊島株式会社 by TOYOSHIMA & CO. in Japan</p> <p>絵型作成 Design Drawing</p>	<p>担当: 森田結子 仕様書作成 Line Sheet 担当: 森田結子</p> <p>パターン作成 Pattern Cutting 担当: 倉知香衣</p> <p>バングラデシュの続き Back to Bangladesh</p> <p>縫製 Sewing ダッカソーイング社 by Dahka Sawing in Bangladesh</p> <p>裁断 Cutting 担当: ジャハン・ラキブ</p> <p>パーツ検品 Inspection by section 担当: モズダール・フロム</p> <p>縫製 Sewing 担当: マズハル・イスラット</p> <p>工場検品 Inspection by factory 担当: ラヒム・サンジャナ</p> <p>たたみ・付属付け袋入れ Folding, attachment and bagging 担当: ハフィズ・サディア</p> <p>第三者検品・検針 Third-party inspection and needle detection 担当: ニザム・タズヌバ</p> <p>梱包・出荷 Packing and Shipping 担当: ランガムア・アブドラ</p> <p>輸入 Import to Japan</p> <p>港へ輸送 Transport to port 担当: ニザム・モフィズル</p> <p>通関 Customs Clearance 担当: ラフマン・ロニー</p>	<p>バンニング Vanning 担当: アマン・ダーリン</p> <p>船での輸送 Transporting by ship 担当: サワド・カリムル</p> <p>通関 Customs Clearance 担当: 川上 健介</p> <p>ドレーで国内輸送 Transport by Truck 担当: 下柳一</p> <p>指定倉庫納品 Warehouse delivery 担当: 田中徳雄</p> <p>各店頭配送 Transporting to stores 担当: 高井恵美</p>
--	--	---	--

※工場の名称、および人物名は一部架空

協力: 豊島株式会社



デニム生産の現場から
ファッション産業の透明性について学び考える旅 広島・岡山2日間
2024/8/2(金)～8/3(土)



study tour



2nd AUG - 3rd AUG 2024

広島 / 岡山

5月31日(金)まで受付中

わたしたちと服の関係性を見つめ直す

デニム生産の現場からファッション産業の透明性について学び考える旅





服づくりの原料から縫製までをたどり、
ファッション産業の透明性について学び考える旅 タイ6日間
2024/9/15(日)～9/20(金)

study tour

15th SEP - 20th SEP 2024

タイ/バンコク

わたしたちと服の関係性を見つめ直す

6月30日(日)まで受付中

服づくりの原料から縫製までをたどり、ファッション産業の透明性について学び考える旅











Field Trip

わたしたちと誰の関係性を見つめ直す

ナカノ株式会社 エコムナ横浜工場

29th JULY 13:00-16:00

手放した服のゆくえを学ぶ フィールドトリップ

7月22日(火)まで受付中

神奈川県 / 横浜



















国内外の政策

INTERNATIONAL TRENDS

国際的な動向

サステナブルファッションに関する
国際的な動向を紹介します



詳しく見る

JAPAN'S POLICY TRENDS

我が国の政策動向

サステナブルファッション実現に向けた
日本の政策動向を紹介します



詳しく見る

WORKING GROUPS

審議会・検討会等

日本の政策に関する議論の状況を
紹介します

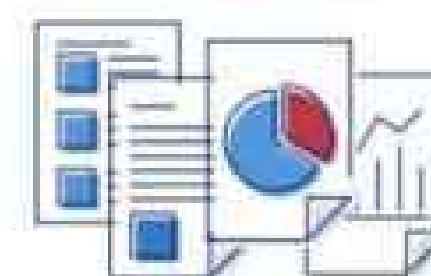


詳しく見る

RESOURCES

サステナブルファッション関連資料

サステナブルファッションに
関連する資料を掲載いたします



詳しく見る

2025年11月6日
令和7年度資源リサイクルセミナー

ファッション産業における資源循環の課題と取り組み

一般社団法人unisteps共同代表理事
鎌田安里紗 / Arisa Kamada